

広報

みなみいず

2016

9

No.555

夏きらり～太陽の道～

一日野 ひまわり畑

人口減少を緩和し、地域経済を再生する指針となる 「南伊豆町まち・ひと・しごと 創生総合戦略」

町では、目指すべき将来人口や町の将来像を定めた「南伊豆町人口ビジョン」と、その目標達成に向け、人口減少や少子高齢化の緩和を図り、将来にわたって南伊豆町が存続していけるよう、地域での生産活動を実施していくための計画となる「南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定しました。

これらの策定にあたっては、「南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会」、「南伊豆町百人委員会」での協議など幅広い層の町民から広く意見をいただき、ともに考え、その推進についても、町民の皆さまとともに取り組んでいきます。

南伊豆町人口ビジョン

南伊豆町では、人口が毎年100人程度（人口の1%以上）減少しており、その主な理由は自然減（出生数よりも死亡者数が多い状況）となっています。地区別に見ると、30年で半分以上にまで減少

している地区もあります。

人口が増えている地区は、上賀茂・加納・差田・一町田・天神原の5地区、その他は全て減少しています。主に海岸部における人口減少の傾向が見られ、三浜地区の

落居、西子浦、妻良などでは、30年で半分以上にまで減少しています。

なお、この間で小学校は6校から3校に、中学校は4校から2校に減少し、そのほとんどの学年が単学級となっています。

町の30年前から現在までの地区別人口の変化

【凡例】
1985年 人口
2015年 人口
※各年4月1日住民登録

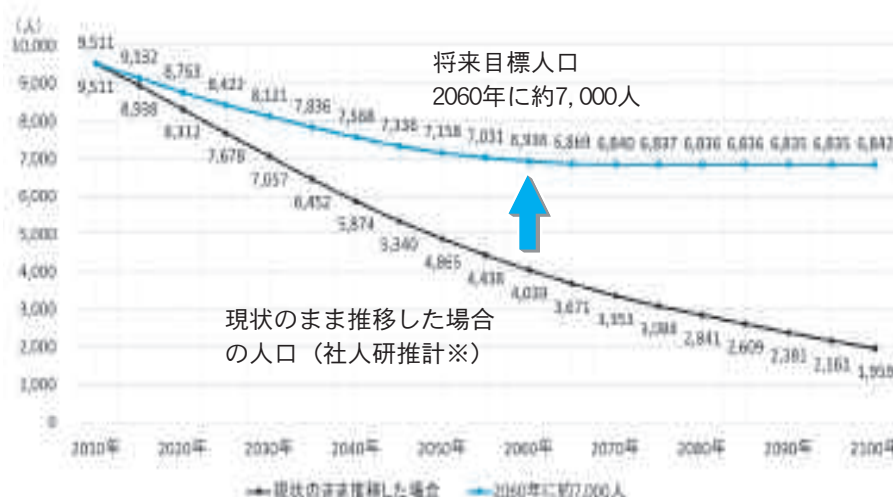


30年前から現在にかけて、人口が半分以上になっている地区がある一方で、増えている地区もある。

総じて、内陸部に比べて沿岸部の地区が人口減少が著しく、沿岸部の地区における観光業や漁業の衰退、民宿の減少などが大きく影響していると考えられる。

南伊豆町の基本姿勢

南伊豆町の魅力を活かした各世代の多様なライフスタイル・ワークスタイルを醸成し、南伊豆町を取り巻く人の流れを変える



※社人研 国立社会保障・人権問題研究所

今後、この状況が続くと仮定した将来人口推計では、約45年後の2060年には4,000人にまで減少するとされています。南伊豆町人口ビジョンでは、毎年100人程度減少している人口について、社会的な増加（転入者を増やし転出者を抑制する。）を中心に、減少率を半分程度に抑えることで、2060年に約7,000人の人口規模を維持していくことを目指しており、観光・交流人口の拡大、若者の結婚・出産の希望をかなえるための子育て・教育支援の充実、若者やファミリー層のUターンや移住の促進、アクティブシニア層の移住の促進および転出の抑制など、ポイントを絞った人口政策により人口規模の目標を達成できるよう取り組んでいきます。

南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略

「南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、2060年に約7,000人の人口規模を維持し、将来的に持続可能なまちづくりを実現するために、初期段階において必要となる施策を体系的にまとめたもので、人口減少や少子高齢化が続く中、将来にわたり南伊豆町が存続し、地域での生産活動を実施していくために必要となる戦略・施策を定めています。

また、総合戦略を策定した平成27年度は、南伊豆町第5次総合計

画の後期計画期間の初年度でもあり、両計画の最終年度を平成31年度として、総合計画を中心にその他個別計画の内容を踏まえ、総合計画に掲げられた構想を具体化する施策および時代に即した新たな施策を具体的なプロジェクトとともに取りまとめています。

策定にあたっては、幅広い層の町民から広く意見をいただき、ともに考えてきました。

町職員が主体的に取り組んだアンケート調査を皮切りに、「産・

学・官・金・労・言」の各代表および公募による委員3人を合わせた20人からなる「南伊豆町総合戦略等策定委員会」、町内の小学校4年生以上の児童・生徒全てを含む委員で構成する「南伊豆町百人委員会」での審議など、地域全体の取り組みとしての位置づけが確立され、また、計画策定のプロセスも「ひとづくり」の機会と捉え、町民全体での取り組みとして進めてきました。

南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略のコンセプト

海・川・山・里を資本として、ひとがつむぐ、伊豆の先端で輝く南伊豆のミライ

「南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「海・川・山・里を資本として、ひとがつむぐ、伊豆の先端で輝く南伊豆のミライ」をコン

セプトに、人口減少の要因分析結果に基づき、施策の対象者（ターゲット）毎の基本目標を設定し、その達成により、町内外の人の流れを変え

ることで、人口減少の抑制と町の活力再生につなげることを目標として、5つの基本目標に即した6つのプロジェクトを掲げています。

南伊豆町人口ビジョンと南伊豆町まち

南伊豆町人口ビジョン

目指すべき
将来の方向

南伊豆町の魅力を活かした各世代の多様なライフ

■ターゲット1

若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望をかなえ、次世代を担う子どもを育む

■ターゲット2

町出身の若者のUターンを促すとともに、町外出身の若者の移住を促す

南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略 海・川・山・里を資本として、

5つの 基本目標

基本目標1

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえとともに、次世代を担う子どもを育む地域社会をつくる

- ・町内外を問わず若い世代にとって結婚の希望をかなえることができるような環境を創出し、婚姻数を増やし、有配偶者の割合を高める
- ・安定した収入を得られるようなしごとやワークスタイルの創出等により、若い世代にとって出産・子育てをしやすい環境を充実させ、出生数および合計特殊出生率を高める
- ・周産期・小児期のケアの充実や、特色ある子育て・教育の環境を整え、次世代を担う子どもを育む

仕事が創出されることで、若者やファミリー層が移住したり、住み続けることができる

子育てが楽しいまちになることで、ファミリー層が移住したくなったり、住み続けたいくなる

基本目標2

南伊豆町の魅力を活かしたライフスタイル・ワークスタイルを創出し、若者の就職時の転出を抑えとともに、U・Iターン者の転入を増やす

- ・高校や教育・研究機関等の連携により若者が地元でしごとに就き、暮らし続けられるような環境を創出する
- ・南伊豆町の魅力や近況を情報発信し、南伊豆町を知り、訪れる人を増やす
- ・南伊豆町での暮らしやしごとを体験してもらい、移住に際する間口を広げ、ハードルを下げる
- ・南伊豆町で暮らし働くための環境を整え、南伊豆町ならではのライフスタイル・ワークスタイルを実現する

【施策分野1】 しごと・雇用 創出分野

【施策分野2】 定住・ 移住促進分野

【施策分野3】 結婚・出産・ 子育て分野

【施策分野4】 地域づくり分野

D 南伊豆シゴトづくりプロジェクト

- ◆再生可能エネルギーによる地域経済循環事業
- ◆南伊豆シゴトづくり支援事業
- ◆南伊豆町マイスター制度事業
- ◆南伊豆ブランド磨き6次産業化
- ◆就業および子育て支援型移住（お試し移住）

B "みなみいず暮らし" プロジェクト

- ◆（仮称）移住推進協議会および移住交流総合
- ◆お試し移住事業

E 子育てが楽しいまちプロジェクト

- ◆地域ぐるみ子育て応援事業
- ◆安心して出産できる環境づくり
- ◆ふるさと大好き南伊豆っ子づくり
- ◆子どもの「将来の夢」をかなえる寺子屋事業
- ◆南伊豆分校地域の学び舎推進事業

F 安心な暮らしづくりプロジェクト

- ◆広域連携による効率的な行財政経営の推進
- ◆地域公共交通の利便性の向上

南伊豆町のまち・ひと・しごと創生総合戦略は、「南伊豆町人口ビジョン」、「南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略（アクションプラン）」、「南伊豆町みらい創造子ども版総合戦略」の4つの計画からなっています。

・ひと・しごと創生総合戦略の全体像

スタイル・ワークスタイルを醸成し、南伊豆町を取り巻く人の流れを変える

■ターゲット3

町出身のファミリー層のUターンや、町外出身のファミリー層の移住を促す

■ターゲット4

アクティブシニア層の移住を促すとともに、後期高齢者の転出を抑える

■ターゲット5

南伊豆町に関心を寄せ、国内外から南伊豆町へ訪れる観光・交流人口を増やす

人がつむぐ、伊豆の先端で輝く南伊豆のミライ

基本目標3

しごと、暮らし、子育て、教育、医療等に関する環境を充実させ、ファミリー層の転出を抑え、転入を増やす

- ・新たな産業の創出や、既存産業の成長支援等により、安定した雇用の場を確保する
- ・自然豊かな環境に加え、暮らし、子育て、教育、医療等のファミリー層の生活に関する環境を総合的に充実させる
- ・地域の特色を活かした魅力ある教育環境を創出し、「南伊豆町で子育てをしたい」と思える環境を創出する
- ・南伊豆町の魅力や近況を情報発信し、南伊豆町を知り、訪れる人を増やす

基本目標4

南伊豆町が持つ環境を活かして生涯健康で元気に暮らせる地域社会を創出し、アクティブシニア層の転入を増やし、後期高齢者の転出を抑える

- ・高齢者向けのしごとや活躍の場を創出することにより、生涯にわたり活躍でき、健康かつ元気で過ごせるような地域社会を創出する
- ・南伊豆町が持つ自然や温泉等の環境を活かして、健康かつ元気で豊かなシニアライフを送ることができる環境を創出する
- ・買い物、通院、地域公共交通等の高齢者の生活に関する環境を南伊豆町単独や広域連携の中で充実させる

基本目標5

伊豆先端の立地を活かし、南伊豆町の魅力に触れ国内外から訪れる観光・交流人口を増やす

- ・伊豆半島の先端の立地と資源を活かし、その魅力を輝かせることにより、国内外から伊豆半島をめぐる南伊豆町へ訪れる観光・交流人口を拡大するとともに他地域居住を推進する
- ・南伊豆の「ひと・もの・こと」の魅力を発信することにより、町外の南伊豆ファンを増やす

観光・交流人口が増えることで、地域経済が拡大する

観光・交流人口が増えることで、移住者や潜在的な移住希望者が増える

アクティブシニアが住むことで、若者やファミリー層の仕事が創出される

窓口における移住希望者の支援事業

※事業は基本目標1と共通

若者やファミリー層が増えることで、地域づくりの担い手が増える

安心な暮らしが確保されることで、各世代が移住したり、住み続けることができる

◆公共施設等を活用した地域生活支援拠点と地域づくりの場の形成

A 南伊豆へようこそプロジェクト

- ◆美しい伊豆創造センターや県・周辺市町と連携した広域観光振興事業
- ◆新たな観光の推進事業（観光基本計画策定、観光協会 DMO 化）
- ◆杉並区や交流自治体と連携した都心部での物産展の開催やアンテナショップの出店
- ◆（仮）「南伊豆人」の制作を通じた南伊豆町の「ひと」とライフスタイルの魅力発信事業

アクティブシニアが住むことで、親や祖父母に会いに南伊豆へ訪れる人が増える

農業委員会の委員が決まりました

農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことにより、農業委員の選出方法が選挙制から町議会の同意を要件とする町長の任命制に変わり、平成28年4月1日から全国の各農業委員会で順次移行が行われています。南伊豆町農業委員会では、7月30日に委員の任期が切れることに伴い、7月31日から新たな組織へと変わりました。



農 業 委 員

議席	氏 名	担当地区
1	高 野 多喜雄	石井・加納
2	金 子 勲	吉祥・差田・立岩・吉田
3	山 本 篤	蛇石・平戸・市之瀬・川合野・青野
4	関 本 宗 一	手石・湊・青市
5	萩 原 作 之	入間・中木
6	山 本 道 男	石廊崎・大瀬・下流
7	鈴 木 盛 行	一條・上賀茂
8	齋 藤 國 治	伊浜・一町田・天神原
9	土 田 光 夫	妻良・東子浦・西子浦・落居
10	鈴 木 欽 也	下賀茂・二條
11	石 川 憲 一	上小野・岩殿・毛倉野・下小野

任期：平成28年7月31日～平成31年7月30日

農地利用最適化推進委員

新たな体制では、農地等の利用の最適化を推進するための農地利用最適化推進委員を、農業委員会の委嘱により設置することが義務付けられています。推進委員については、選考中ですので、委嘱され次第お知らせします。

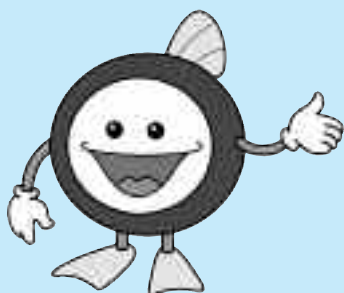
農業委員会の役割と農地法の手続き

農業委員会では、地域における優良農地の確保を目的として、農地の売買や賃借等の権利移転申請、農地を宅地等の他の目的に変更する転用申請等について、農地等の法律に基づいて判断しています。

農地法の手続きが必要となる場合は、農業委員または農業委員会事務局（地域整備課内）までご相談ください。

問合せ 農業委員会事務局（地域整備課内）
☎ 6 2 - 6 2 7 7

9月10日は「下水道の日」です



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

町では、平成2年度に公共下水道計画を策定し、現在も下水道の整備を続けています。国からの補助を受けながらたくさんのお金をかけて下水道を整備していますが、現在の加入率は50.7%と低迷しています。

公共下水道への接続や単独浄化槽から合併浄化槽への切替えは、河川や海岸の水質保全に繋がります。まずは、できることから始めましょう。

問合せ 生活環境課 下水道係 ☎ 6 2 - 6 2 7 0

10月1日から 国民健康保険証が変わります



今までお使いの「藤色」の保険証が、10月1日から「ウグイス色」の保険証に変わります。

9月中旬に新しい保険証を郵送しますので、10月以降は新しい保険証をご使用ください。



また、有効期限の切れた保険証は、健康福祉課まで返却してください。ご自分で処分する場合は、はさみで細かく切るなどして処分してください。(個人情報情報が漏れないように注意してください。)

国保の加入・脱退について

国民健康保険に加入している人が就職して職場の保険（社会保険）に加入したときや、社会保険などに加入している人が退職したり扶養から外れたりして国民健康保険に加入するとき、住所が変わったときなどは、必ず14日以内に届出をしてください。

問合せ 健康福祉課 国民健康保険係 ☎ 62-6233

こども医療費 受給者証更新のお知らせ

現在、ご使用のこども医療費受給者証の有効期限は9月30日までとなっています。引き続き助成を受けるためには、こども医療費受給者証の更新申請が必要となりますので、申請の手続きをしてください。

受付開始 9月12日（月）～
※土日、祝日を除く

受付時間 8:30～17:15

必要なもの こども医療費受給者証交付申請書
(受給者へ郵送します)
印鑑、こどもの健康保険証



※10月1日から新しい受給者証となりますので、医療機関にかかる前に申請してください。

問合せ 健康福祉課 子育て支援係
☎ 62-6233

平成28年度から 敬老祝い金を一部変更

町では、多年にわたり社会に尽力してきた高齢者に敬愛の意を表し、長寿をお祝いするため敬老祝い金を贈呈しています。敬老祝い金の贈呈対象年齢は、これまで80歳以上でしたが、平成28年度からは100歳、88歳、80歳の3区分になります。

対象者 ※平成29年4月1日現在の年齢	敬老 祝い金
100歳（百寿） 大正5年4月2日～大正6年4月1日生 ※贈呈方法について、対象者に町から ご案内します	30,000円
88歳（米寿） 昭和3年4月2日～昭和4年4月1日生 平成28年9月1日に南伊豆町に在住 ※自治会を通じて9月頃贈呈します	5,000円
80歳（傘寿） 昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生 平成28年9月1日に南伊豆町に在住 ※自治会を通じて9月頃贈呈します	3,000円

問合せ 健康福祉課 福祉介護保険係
☎ 62-6233

9月18日
(日)

第1回

弓ヶ浜国際オープン ウォータースイム開催！

弓ヶ浜海水浴場において、第1回弓ヶ浜国際オープンウォータースイムが開催されます。

オープンウォータースイムとは、海、川、湖などの自然の水の中で行われる、長距離水泳競技です。

当大会は、リオオリンピックで活躍した貴田裕美選手をはじめ、世界の招待選手が参戦します。迫力ある世界レベルの選手たちの泳ぎを見にぜひお越しください。

日時 9月18日(日)10:30～

競技種目 1,500^{メートル}、3,000^{メートル}、4,500^{メートル}
(各部門にウェット有り、無しがあります)

前夜祭！

黒潮ウェルカムファンクション

第1回弓ヶ浜国際オープンウォータースイムの前夜祭を開催します。弓ヶ浜海水浴場特設ステージで行われる、アーティストたちのパフォーマンスをお楽しみください！

日時 9月17日(土)17:00～21:00

会場 弓ヶ浜海水浴場特設ステージ

※パフォーマンスの他、夜店も出店します！

9月17日
(土)

問合せ 商工観光課 観光推進係 ☎62-6300



熱中症とは？

高温多湿な環境により、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、大量の発汗、めまい、倦怠感、吐き気などの症状を起こす病気です。室内でも発症する場合があります、特にお年寄りや子どもはかかりやすいため注意が必要です。

熱中症予防のポイント

- 扇風機やエアコンを上手に使いましょう！
- 水分と塩分の補給を！
- 日傘や帽子で日よけ対策も！
- 普段から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！
- 周囲の人に気を配り、熱中症予防の呼びかけを！

熱中症が疑われる人への対応

- 涼しい場所へ避難させる
- 衣服を緩め、体を冷やす
- 水分・塩分を補給する
- 自分で水が飲めない、意識がない場合は、直ちに救急車を呼ぶ！

7/21 カフェみなと オープン



カフェで交流する利用者たち
認知症の人やその家族、地域の方々が気軽に集える場所「カフェみなと」がみなとの園にオープンしました。訪れた人々は、お茶を飲みながら交流や情報交換をして、地域住民のつながりや、認知症に対する理解を深めていました。

8/2 透明骨格標本づくりに挑戦



ピンセットを使い真剣に取り組む児童たち
「サイエンス教室～さかなの透明骨格標本づくり～」が役場で行われました。参加した小中学生は、ピンセットとはさみを使って魚の骨格標本づくりに挑戦し、普段の学校教育とは違った角度から、理科の魅力や面白さを学んでいました。

8/9～10 防災意識の高揚を図る



避難所運営ゲーム HUG に取り組む参加者たち
「南伊豆東中学校区防災キャンプ」が南伊豆東中学校で行われました。参加者たちは、避難所生活を想定した炊き出しや、体育館での宿泊体験を通じて、助け合う心や、人のために行動することの大切さについて学びました。

8/15 浜辺で優雅に盆踊り



優雅に踊る地元女性たち
県無形文化財に指定されている「妻良の盆踊り」が妻良海岸で行われました。観光客や帰省客も輪に加わり、花笠をかぶった浴衣姿の地元の女性に踊りを教わりながら、念仏調の歌とお囃子^{はやし}に合わせ、盆踊りを楽しんでいました。

道路愛護優良団体表彰受賞

下田総合庁舎で開催された静岡県道路利用者会議 下田支部会議において「湊花の会」が道路愛護優良団体表彰を受けました。

同団体は、平成 19 年に「しずおかアダプトロードプログラム制度」に賛同し設立。湊地区の住民が協力して、一般県道手石湊線沿いの道路環境美化活動を行っています。



今月のおすすめ



「県庁そろそろクビですか」
円城寺雄著／小学館
佐賀県庁職員でありながら救急医療改革を全国に広める活動をしている著者は、庁舎にいる時間も少なく「そろそろクビか？」と揶揄される毎日。



「希望荘」
宮部みゆき著／小学館
家族と仕事を失った杉村三郎は私立探偵事務所を開業。ある日、亡き父が生前に残した「昔、人を殺した」という告白の真偽の調査依頼が舞い込む。



「モンスターマザー」
福田ますみ著／新潮社
「息子は校長に殺された」母親と人権弁護士の執拗な責任追及に追い込まれる高校。だが教師たちは真実を求め、ついに反撃に転じた。



「半席」
青山文平著／新潮社
分別ある侍たちが、なぜ武家の一線を越えたのか。若き徒目付の片岡直人に振られたのは、腑に落ちぬ事件にひそむ「真の動機」を探ることだった。



「もう親を捨てるしかない」
島田裕巳著／幻冬舎
年々、平均寿命が延び続ける超長寿国・日本。だが認知症、寝たきり老人が膨大に存在する今、親の介護は地獄だ。本音でラクになる生き方とは？



「最強の経営者」
高杉良著／プレジデント社
住友銀行から「夕日ビール」と蔑まれたアサヒビールに乗り込んだ樋口。次々と業界のタブーに挑んだ伝説の男とは。著者最後の企業小説。



「裸眼のススメ」
矢上裕著／サンガ
自力整体で背骨を調整し視力回復。からだと自律神経のしくみを理解し背骨をケアする自力整体の実践でメガネを手放せます。



「真贋」
今野敏著／双葉社
犯行現場に臨場し、その手口から犯人の目星をつける“盗犯捜査の職人”警視庁捜査三課の萩尾が、相棒の秋穂とともに“盗みの職人”に対峙する。



「帰郷」
浅田次郎著／集英社
みんな、普通の人だった。二度と戻れぬ。遠きふるさと。戦争によって引き裂かれた、男たちの運命とは。名もなき人々の矜持ある生を描く。



「我が家の内輪話」
三浦朱門・曾野綾子著／世界文化社
高齢化社会の中でいかに尊厳をもって生きるのか。日本を代表する知識人でおしどり夫婦と言われてきた三浦朱門、曾野綾子氏の交換エッセイ集。

－新着図書案内－

日本会議の研究	菅野 完
家庭という学校	外山滋比古
医師もびっくり！認知症が治っている	野本 裕子
電力自由化で何が変わるか	小澤 祥司
アボガドがあればごちそうレシピ	緑川 鮎香
漂流怪人・きだみのる	嵐山光三郎
折々のうた（春・夏）	大岡 信
ツバキ文具店	小川 糸
ご機嫌な彼女たち	石井 睦美
サブマリン	伊坂幸太郎
たんぼぼ団地	重松 清
闘う力	なかにし礼
伯爵夫人	蓮實 重彦
主夫のTomorrow	朱川 湊人
軋む心	ドナル・ライアン

本の宅配をしています！

図書館では、町内13か所に配本所を設け、近くの人にご利用いただいています。

また、本の宅配もしています。「本は大好きなんだけど、車の運転が出来ず、またバス停も遠いので、図書館まで行くことができない。」「図書館が近くで、読みたい本はたくさんあるけれど、足が不自由で。」と、さまざまな理由で来館できない人がいます。そんな時には、図書館の本の宅配サービスをご利用ください。ご連絡いただければ、すぐに対応します。

“いつでも、どこでも、だれでも読みたい本が手に入る”図書館を目指し、サービス網を充実していきます。



健康レシピ ヘルシー酢鶏



ここがポイント！

肉を揚げないのでヘルシーな酢鶏です。

なずみかい
南豆味会（健康づくり食生活推進協議会）
問合せ 健康福祉課 ☎ 62 - 6233

▷ 材料／4人分 ◁ （1人分エネルギー165kcal、塩分0.7g）

鶏もも肉（皮なし）……280 g
片栗粉……適量
サラダ油……大さじ2
玉ねぎ……1/4 個
にんじん……1/4 本
ピーマン……2 個
しいたけ……中2 個

水……100ml
トマトケチャップ……大さじ2
A しょうゆ……大さじ 2/3
酢……大さじ1
こしょう……少々
片栗粉……大さじ1

▷ 作り方 ◁

- ①鶏もも肉は一口サイズに切り、片栗粉をまぶす。玉ねぎは一口サイズに切る。にんじんは皮を剥いて一口サイズの乱切りにし、下茹でする。ピーマンはヘタを落として種を取り除き、一口サイズに切る。しいたけは軸を切り落とし、一口サイズに切る。
- ②Aを混ぜる。
- ③フライパンにサラダ油を中火で熱し、鶏もも肉をこんがりと焼く。
- ④③を一旦取り出し、玉ねぎを透き通るまで炒めたら、にんじん、ピーマン、しいたけを加えてさっと炒める。
- ⑤②を加え、鶏もも肉を戻し入れてとろみがつくまで煮たら、さらにひと煮たちさせる。



松原

みなみいず探索記



錦木

移住交流の拠点づくり



7月号の広報でご紹介したとおり、旧ニュー南伊豆ホテルを、地域住民の交流や、住民と移住した人・したい人の交流拠点とすることを目的に、整備を進めています。施設内部の不用品整理もひと段落し、現在、掃除をしながら改修部分についての検討を行っています。まずは、この施設で何をしたいかを考え、必要な改修を順位付けしていき、活用方法について検討していきます。

そういった中で、まずは、私のやりたいこと、できることを活かした拠点づくりをしていきたいと考えており、その実現に向け、多種多様なご意見を聞きながら、検討できればと思います。

また、移住してきてから知り合っ

た地域の方々の力をお借りし、施設の活用と地域に必要なものについて、意見交換を何度か行いましたが、その中でも、お風呂や大広間で昭和の雰囲気を感じながら、気軽に情報交換や談話ができる場所があったら面白いと思っています。

この施設の活用方法はまだ決定していません。皆さんの中で一緒にこの施設を活用して、何かやりたい人がいらっしゃいましたら、ぜひ、意見交換させてもらえませんか。今後、拠点づくりについては「ミナミイズ人と経済活性化推進協議会」とも連携を進めていき、地域の拠点となる、人々が笑って集える場所を作りたいと思います。皆さまの協力とお力添えをぜひお願いします。隊員 錦木

お知らせ

青野川・岩殿の河川改修のお知らせ

岩殿地区では、前年度に引き続き、青野川の治水安定のために改修工事を行います。

環境に配慮した多自然型護岸として、コンクリートの使用を最小限とした石積工法を採用しています。工事は、雨が少なくなる11月から始めます。

工事へのご理解とご協力をお願いします。

問合せ

下田土木事務所 工事第1課

☎ 24-2114



※平成27年度工事完成後の様子

公証週間中の無料 夜間・休日相談開催

10月1日～7日は「公証週間」です。この期間中、下記のとおり無料夜間相談・無料休日相談を行います。

無料夜間相談 10月3日（月）～7日（金） 17:00～19:00

無料休日相談 10月1日（土）10:00～15:00

相談内容 相続・遺言、任意後見、尊厳死宣言、金銭貸借、離婚給付・年金分割、土地建物賃貸借等

場所 下田公証役場（下田市西本郷1-2-5 佐々木ビル3階）

申込方法 事前電話による予約制

申込み・問合せ 下田公証役場
☎ 22-5521



伊豆斎場組合職員 （一般事務）募集

平成29年4月1日採用の職員を下記のとおり募集します。

職務内容 組合の一般事務（火葬業務を兼務）

募集人数 1人（高卒以上）

受検資格 昭和52年4月2日以降に生まれた人

受付期間 9月12日～21日

試験日 10月16日（日）

試験科目 教養試験、小論文、事務適性検査、面接

資料請求 上記受付期間を考慮のうえ、組合事務局まで、請求願います。その際、140円切手を貼付し、返送先を明記した角2封筒を同封の上、郵送してください。

※電話のお問合せは詳細の対応ができない場合があります。

問合せ 伊豆斎場組合事務局
（下田市役所 市民保健課内）
〒415-8501

下田市東本郷一丁目5番18号

☎ 22-2215

I Z U 食彩トレイド フェア開催

伊豆地域の優れた食材や加工品などを広く消費者にPRし、商工会と地域事業者が共に伊豆地域の活性化と食材の地産地消拡大による地方創生を目指す「I Z U 食彩トレイドフェア」を開催します。

伊豆地区の商工会が実施する1日限定の食材市場へぜひお越しください。

日時 9月18日（日） 9:30～14:00

場所 伊豆市生きいきプラザ
（伊豆市小立野66-1）

内容 食品、食材加工品の販売

出展者 伊豆地区の農林水産業および食品取扱事業所または団体など

入場料 無料

問合せ 南伊豆町商工会
☎ 62-0675

ゲートキーパー研修会 開催

「ゲートキーパー」とは、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、適切な支援につなげる人のことです。

悩んでいる人に、気に掛けているとメッセージを発すること自体が孤立防止につながることを知ってもらうための研修会です。

日時 9月27日（火）13:30～15:45

場所 下田総合庁舎4階 第8会議室

対象者 ゲートキーパーに関心のある人

内容 ゲートキーパー研修会、アロマを使ったセルフケア

※研修に併せて、アロマを使ったセルフケア、精油の香りと心身への効果、ハンドマッサージで受講者の日頃の疲れやストレスを癒します。

定員 20人（先着順）

申込方法 電話で申し込みください。

申込期間 9月23日（金）

問合せ

賀茂健康福祉センター 福祉課
☎ 24-2056

伊豆道の駅スタンプ ラリー2016開催

伊豆の7つの道の駅をめぐる「伊豆道の駅スタンプラリー2016」を、昨年に引き続き開催します。スタンプ3個から応募可能で、スタンプ数に応じて、伊豆地域の特産品を当選総数210人にプレゼントします。ぜひご参加ください。

開催期間 平成29年1月15日（日）

場所 伊豆地域内の道の駅

参加方法 道の駅等にある台紙にスタンプを押印の上、応募してください。

問合せ 伊豆道の駅ネットワーク協議会事務局

☎ 055-934-2010

（平日9:00～17:00）

✉ info@izu-michi-net.com

メディカル通信

お母さんに伝えたいこと
看護部長 高田穂積



乳幼児期の感染症はつきもので、
当院でもおたふくかぜ、ヘルパン
ギーナ（乳幼児期に流行する夏風
邪の一種）が流行し、多くのお子
さんが小児科を受診されました。

【お子さんに多い感染症】

おたふくかぜ

感染しやすいのは発症3日前～
耳下腺腫脹後4日間。

ヘルパンギーナ

38～40℃の高熱が2～3日続く。
のどの奥に小さな水ぶくれができ
て食べれなくなる。機嫌が悪くな
る。水分がのめなくなると脱水を
起こす。

溶連菌感染症

溶連菌という細菌がのどに感染
して、のどの痛みや熱、体や手足
に発疹が出る。

子どもは病気にかかるとう重症化
しやすいため、予防接種は必ず受
けましょう。また、大人も普段か
ら手洗い・うがいをし、感染症の
流行期にはマスクを着用しましょう。

賀茂地域には小児科の夜間救急を
行っているところはありませんの
で、早めの受診をお勧めします。

☎ 下田メディカルセンター

☎ 25-2525



姉妹都市だより 長野県塩尻市

「塩尻ぶどう詰め合わせ」は
いかがですか

塩尻市内のあちこちで、ブドウ
の甘い香りが漂う季節になりました。
今年も10月下旬まで「信州塩尻
ぶどうまつり」を開催しています。
この季節に、ぜひブドウ狩りにお
越してください。

また、この機会に近年人気が高
い皮ごと食べられる高級品種
「シャインマスカット」「ナガノ
パープル」や、塩尻特産の「ナイ
アガラ」などを詰め合わせた「塩
尻ぶどう詰め合わせ」をご用意し
ました。申し込みは、先着順とな
りますので、お早めに電話でお申
し込みください。

【塩尻ぶどう詰め合わせ】

1セット 4,000円（送料込み）

※限定30セット

申込方法 電話でお申し込みください。

配送時期 9月下旬予定

☎ 塩尻市秘書広報課

☎ 0263-52-0280



戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
加納	山田 穂波 ^{ほなみ}	7.17	勇美・和

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
一橋	高橋 吾一	87	7.1
吉田	飯田 廣幸	84	7.2
市之瀬	松本みつ代	68	7.3
湊	山田 貢	92	7.5
大瀬	菊池きくゑ	88	7.5
石井	鈴木 秀夫	71	7.9
中木	山本 重雄	38	7.8
湊	佐藤 米夫	91	7.11
大瀬	山本たか子	84	7.21
青市	高橋 信雄	92	7.21
吉祥	山本 逸夫	87	7.23

平成28年7月1日から7月31日までに
届出のあったもの（敬称略）

※このコーナーに掲載を望まない方は、
戸籍届出の時にお申し出ください。

人の動き

（8月1日現在）

世帯数 3,961世帯

人口 8,733人（-15）

男 4,188人 女 4,545人

-----（7月中）-----

転入 16 転出 15

出生 1 死亡 17

※住民基本台帳法の改正（平成24年7月
9日）により、外国人も含んでいます。

9月は、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療
保険料、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。
税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。



まちの人

地域の安全・安心を守る

下賀茂駐在所

としゆき
長谷川 敏幸 さん（下賀茂）

駐在所では、パトロールをはじめ、子どもたちが安全に通学できるよう街頭指導を行ったり、管轄地区のお宅を訪問しながら、地域の把握や地域の実状にあった役割を、日々考えています。

静岡県では、高齢者を対象とした振り込め詐欺などの被害が多発し、南伊豆町でも還付金を騙った詐欺事件が発生しました。地域の安全・安心を守り、高齢者の被害が増加しないよう、定期的に啓発チラシを作成し、訪問時に配布したり、地区回覧に

まわして広報活動を行い、被害防止に努めています。不審な電話や身に覚えのない電話などがあつたら、すぐにお近くの駐在所または下田警察署までご連絡ください。

困った人が安心して相談できる「身近なおまわりさん」を目指し、地域住民に寄り添いながら職務を遂行するとともに、地域の方が安全・安心な暮らしができるよう最大限努力していきますので、よろしく願いいたします。

健康一口メモ

いつまでもお達者生活を！



先月、県内の「お達者度」（平成25年、市町別）が公表されました。「お達者度」とは、要介護度が2～5でない状態を「自立している（お達者である）」と定義し、65歳の方が自立して健康に生活できる平均期間を算出したものです。本町は、残念ながら、前年度より順位を落とし、男性16.54年（30位→34位）、女性21.06年（2位→17位）という結果でした。

町の要介護認定者の状況をみると、認知症、骨関節疾患、脳血管疾患が大半を占めており、認知症予防、転倒予防、生活習慣病予防こそが、お達者な生活を送るために重要と言えます。町でも、健康づくりに向けた各種がん検診や健康教室、介護予防教室を実施していますので、ぜひ、ご利用ください。

問合せ 健康福祉課 ☎ 62-6233

スマイルキッズ



みちる
湊 杉本 美智瑠 ちゃん（1歳6か月）

「毎日外で走り回り、
元気いっぱいです！」

広報みなみいず 9月号

発行日／平成28年9月1日
発行／南伊豆町 編集／企画課 印刷／（有）サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

編集後記

9月に入りましたが、まだまだ暑い日が続きますね。私の知人が、「日中部屋で昼寝をしていたら、脱水症状になった」と話していました。室内だからといって油断は禁物です！気温・室温に注意し、こまめに水分補給をしましょう



広報みなみいずは、再生紙を利用しています。